

新たなケナガネズミ事故対策の路面表示が決定 ～官・学で連携して工夫を凝らしたデザインを検討～

- 沖縄総合事務局では、これまでもロードキル対策に取り組んでいましたが、更に希少動物へ配慮した道路を目指した取組を実施することとしています。
- 令和 7 年度は、環境省より提供をうけたデータに基づき、ロードキル多発箇所・時期・時間帯を分析し、効果的な対策箇所・方法を検討します。
- このたび、データに基づいて同定した、ケナガネズミの事故多発時期である 10 月に向けて設置予定の路面表示のデザインを決定しましたのでお知らせします。
- 路面表示のデザイン決定にあたっては、沖縄県立芸術大学と連携し、ドライバーが認知しやすいよう、以下の工夫を行いました。

<工夫点>

- ①造形の単純化
視認性を高めるため、造形を単純化したピクトグラムを採用
 - ②動的なデザイン
注視させるため、巣から抜け出すような、動的なデザインを採用
 - ③足跡の配置
認知性を高めるため、視線誘導効果を期待して足跡を配置
 - ④暖色の採用
注意を引きつけるため、近くに見える効果のある暖色を採用
- 今後、路面表示の設置に向けて、夜間時でも見やすいよう、高輝度を確保する方法や、走行中の車から立体的に見えるよう、縦横比の調整を検討します。
 - なお、路面表示の設置は、関係機関との調整を経て、9月中を予定しています。

【問い合わせ先・取材申込】

内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 <TEL：098-866-0031（代）>

道路管理課

課長

こめす としひこ
米須 俊彦

課長補佐

みやぎ はやと
宮城 勇仁

北部国道事務所

<TEL：0980-52-4350（代）>

道路保全官

かわま しげいち
川間 重一

調査課 課長

みやぎ かおり
宮城 かおり

<路面表示デザインの工夫点>

①造形の単純化

視認性を高めるため、**造形を単純化したピクトグラム**を採用

②動的なデザイン

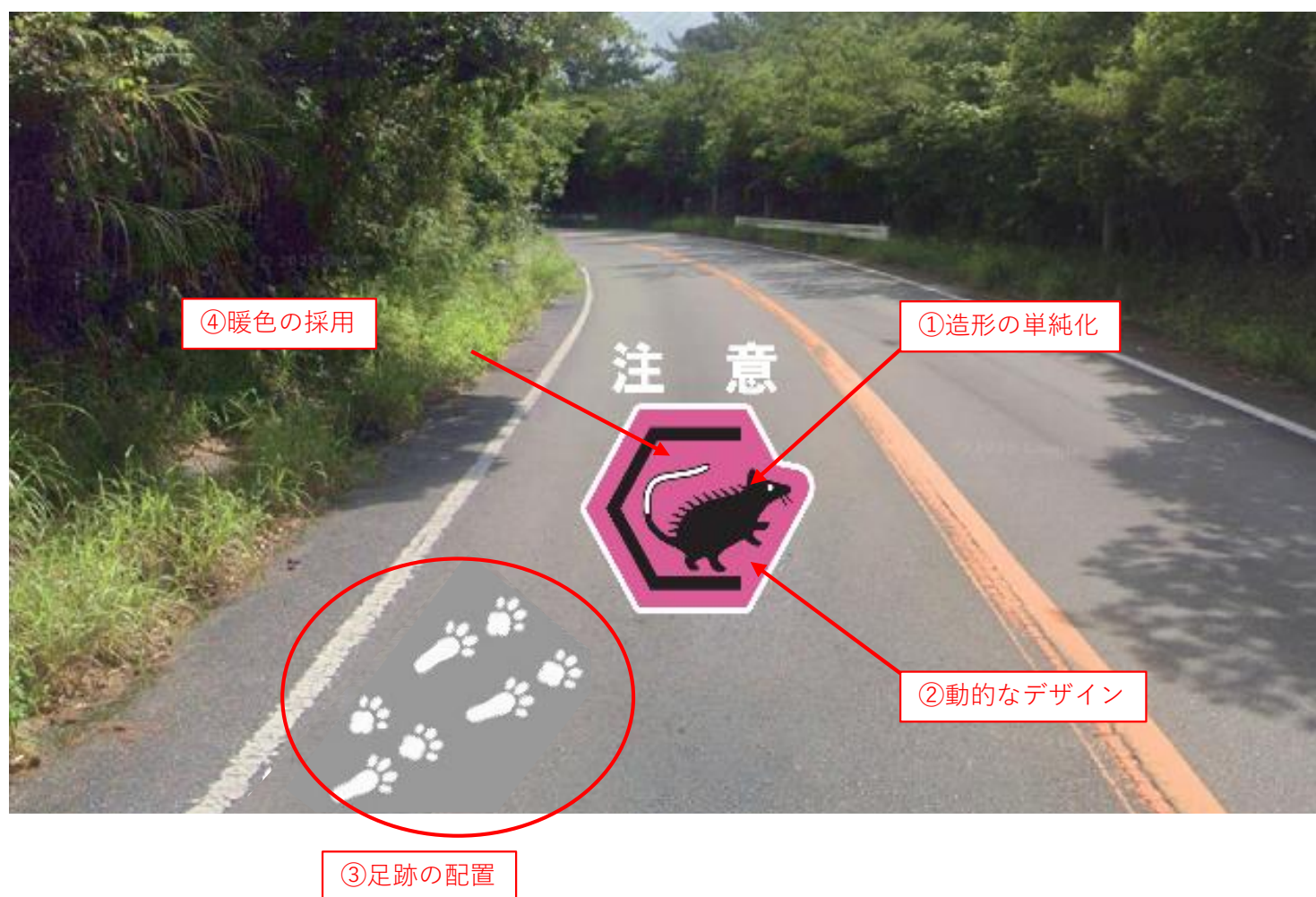
注視させるため、**巣から抜け出すような、動的なデザイン**を採用

③足跡の配置

認知性を高めるため、視線誘導効果を期待して**足跡を配置**

④暖色の採用

注意を引きつけるため、実際の距離よりも近くに見える効果のある**暖色を採用**



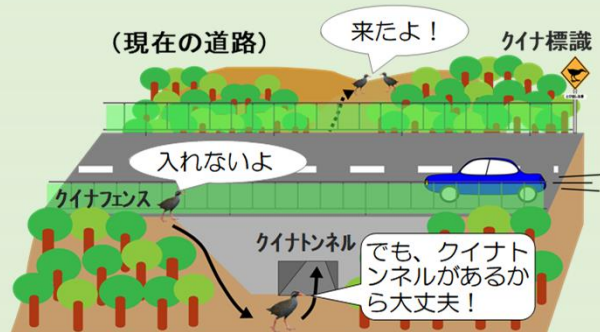
路面表示の設置に向けて、夜間時でも見やすいよう高輝度を確保する方法や、走行中の車から立体的に見えるよう、縦横比の調整を検討し、関係機関との調整を経て、9月中に現場での設置を予定しています。

沖縄総合事務局でのネイチャーポジティブの取組

沖縄総合事務局では、これまでもロードキル対策に取り組んでいましたが、更に希少動物へ配慮した道路整備を目指し、「ネイチャーポジティブ」に取り組めます。

これまでのロードキル対策

道路構造から動物にアプローチ = 動物が車を回避



クイナフェンス



クイナトンネル

これからのロードキル対策

ドライバーから動物にアプローチ = ドライバーが動物を回避

- データに基づき、ロードキル多発箇所・時期・時間帯を同定、効果的な対策箇所・方法を検討。
- 今年度は、事故多発区間において、路面表示を設置することとし、まずは10月に事故多発時期を迎えるケナガネズミのロードキル対策として、ケナガネズミの路面表示デザインを決定。
- 今後、関係機関との調整を経て、9月中旬に現場に路面表示を設置予定。

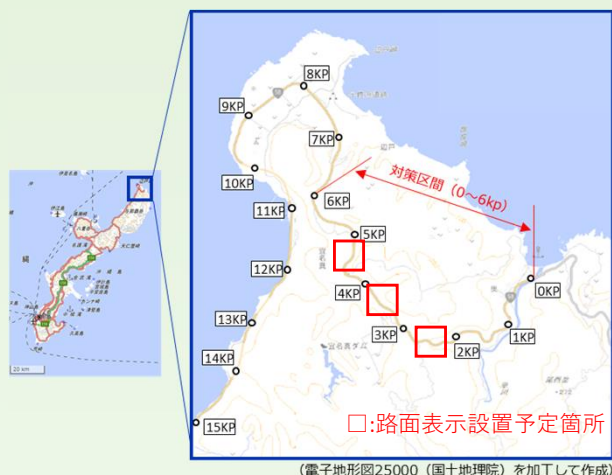
ケナガネズミ路面表示の内容



県立芸術大学と連携し、見やすい、シンプルなデザインにしました！

ケナガネズミ路面表示の設置イメージ

道路横断しているような動きを再現！
色合いは人の目を引きやすい色を採用！



(電子地形図25000 (国土地理院) を加工して作成)

路面表示設置予定箇所 (国道58号)

・ネイチャーポジティブとは？

ネイチャーポジティブとは、「自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させる」こと。道路分野においても、生態系に配慮した道路整備など動植物の生息・生育環境の形成等に取り組んでいます。

令和7年度は、データを活用して、ロードキル多発箇所・時期・時間帯を分析し、効果的な対策箇所・方法を検討します。

